

KANAGAWA HOHYUH CLUB

神奈川放友会

Newsletter



Vol. 4 No.2 Mar.. 2011

第 14 号

神奈川放友会

〒231-0033 横浜市中区長者町4丁目9番地

ストーク伊勢佐木1番館 501 号

TEL 045 681 7573 FAX 045 681 7578

発行人 長谷川 武

発行日 2011年3月10日

放友会は活動している

会長 長谷川 武

本会は4年目を迎え120名を超える会員が登録され、気楽に集まり「過去を語り、現在を語り、未来を語ろう」として、年間4回のニュースレターを発行し自らの仲間意識の向上を築き上げようと、真面目な活動を会費なしでやって来ました。(但し、年間500円を郵送費のため購読料としている)

ニュースレター発行を主軸にして、「放友会の集いや見学会・小旅行ツアー、初めての出版物発行、更には選挙支援」を実行しています。

また、「医療の安全管理体制整備」を支援有志会との連携で、「クリニック等における放射線業務の支援」を考える活動の支援をつづけています。

一方、中央では厚生労働省の“チーム医療推進に向けた取り組み”や“中医協での委員の交代”が話題を呼び、更に看護師の業務拡大等が検討され、特殊看護師として患者の診察や撮影オーダー、処方箋等を一部可能にするような検討が進められています。これは医療スタッフの協力連携による「チーム医療の推進」として、医療改革が進められているのです。

この対策の中で、放射線技師領域の協力連携として実現したのは、①画像診断における読影の補助を行うこと ②放射線検査等に関する説明相談を行うこと でしたが、他にも改善要望は数多くある！

民主党政権になって、医療分野において大きく変化していることを痛感しませんか。中医協委員へ放射線技師の起用等が見られますが、理学療法士出身の民主党山口知之衆議院議員(2009年衆議院議員選挙当選)の活動も大きく、理学療法士会要望への取り組みには大きな貢献が見られる。

診療報酬への反映に、その効果が現れています。

社団法人である神奈川県放射線技師会は政治活動には関与していませんが、神奈川では10年前に神

奈川医療専門職連合会が設立されており、この出身者で栄養士会所属の「合原康行」氏が4月10日に行われる県議会議員候補として立候補する。

しかし、医専連の仲間として一緒に活動してきた立候補者なのに、社団法人の肩書きをもつ団体としては、選挙活動は控えられると思われれます。更に公益法人としての申請を控えている団体としては、県から政治への関与についての調べもあり、慎重になっているので、政治連盟組織をもっていない神放技では「神奈川放友会」が頼りとなることでしょう。

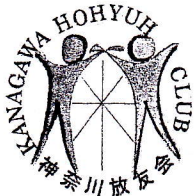
神奈川放友会は、「県医専連出身者の同志であり、民主党公認候補者である」として、推薦することを決め、候補者との協定書を交わしました。

当然、神放技と二人三脚の活動を目標にしている放友会としては、選挙支援に関する連絡会議を行い勉強することも多いのですが、神奈川放友会としては初めてのケースでもあり、これまでに踏み込めなかった議員支援運動に小さな一歩を踏み入れた気がしております。

些細な放友会の活動ではありますが、神奈川放友会設立趣旨の一環でもあり、ワンステップ活動を広げ踏み出しておりますので、ご理解とご支援を頂きますよう切にお願い申し上げます。

県議会議員と言わず市議会議員も国会議員にも、県民医療の向上と放射線技師の社会的役割の向上に向けて、医療専門職の環境改善を理解し協力してくれる議員には、共有する目的のために連携して行きましょう。神奈川放友会は自由な団体なので、気楽に話し合い行動すれば、医療技術者の環境改善の目標に向かって進むことになると思うのです。

“総会や放談会”の集いに参加されて、是非とも意見交換や会の支援を盛り上げて下さい。



神奈川放友会総会

「会告Ⅰ」 第4回神奈川放友会総会の開催を下記の通り告示する。

2011年3月10日

神奈川放友会 会長 長谷川 武

開催日 平成23年4月3日(日)
AM: 11:30~12:00

開催場所 オークラレストラン横浜
buffet&ダイニング サファイヤ
(JR横浜駅東口 そごう横浜店 10階)
tel 045 465 5710

- 総会議事
- 1) 開会のことば
 - 2) 会長挨拶
 - 3) 議 題
 - ① 第1号議案 平成22年度事業及び会計報告
 - ② 第2号議案 平成22年度 監査報告
 - ③ 第3号議案 平成23年度事業計画及び予算案
 - 4) その他
 - 5) 役員選出
 - 6) 閉会のことば

「会告Ⅱ」 第2回神奈川放友会「放談会」開催のお知らせ

「第2回 放談会」を総会開催時の第2部企画として同時開催いたします。気楽に集まり「過去・現在・未来」を語りましょう。万障お繰り合わせの上、是非ご参加をされますようご案内いたします。

神奈川放友会 会長 長谷川 武
実行委員長 橋口 邦紘

開催日 平成23年4月3日(日)
AM: 12:00~13:30

開催場所 オークラレストラン横浜
buffet&ダイニング サファイヤ
(JR横浜駅東口 そごう横浜店 10階)

参加費 4000円(放談会会費)

テーマ 「神奈川放友会の活動を考える」

“ 気楽にみんなで語り合おう”

司会：副会長 橋口 邦紘・理事 早瀬 武雄

〔総会資料〕

I 平成22年度事業及び会計報告総括

①会員の情報交換 ②神放技への協力、意見具申 ③ 21世紀の医療と福祉の向上発展に寄与する社会活動への支援 に集約されますが、それに沿って精進してきた。会費無しの運営で、急がず焦らずの基本ながら、役員の熱意で出版物を出すことが出来た。

また、会員とのコミュニケーションに目標を合わせると共に、統一地方選挙への支援に踏み込んだ。

その活動を報告いたします。

1) 会員数 126名(男:121名 女:5名)2011.2.16

2) 会 議 定例理事会 7回

3) 事業活動

- ① 「神奈川放友会 Newsletter」の発行 年4回
第10号 Vol.3 No.2 2009.04.01 A4版 8p 200部
第11号 Vol.3 No.3 2009.07.01 A4版 8p 200部
第12号 Vol.3 No.4 2009.10.15 A4版 8p 180部
第13号 Vol.4 No.1 2010.01.15 A4版 8p 150部
- ② 第3回総会(2010.04.04)及び第1回放談会の集い

③ 箱根周遊の旅 平成22年10月24日(日)

④ 神奈川県放射線技師会への協力
意見交換・選挙支援の打合せ・委員会参加

⑤ 医療体制への鼓動—検診に携わった技師の記録—
石渡良徳 著(自費出版)の出版(2010.05.25)支援

⑥ 「神奈川放友会 Newsletter」を神放技HPに掲載

⑦ 「神奈川放友会」の紹介及び会員登録の推進活動
地域放射線技師会・放射線技術講習会・賀詞交換会等での役員参加によるPR

4) 会計報告

平成22年度会計報告

収入の部		支出の部	
事業収入		送料費	30,640
購読料	58,500	文房具費	39,840
事業運営費	75,000	事業実行費	74,600
寄付収入	25,468	雑費	7,350
前年度繰越金	76,632		
収入合計	240,700	支出合計	152,430
		繰越収支差額	88,270

5) 役員

会長	長谷川 武	理事	早瀬 武雄
副会長	橋口 邦紘	理事	小松崎真一
監事	柳生 博	理事	石渡 良徳
監事	萩原 明	理事	村松 康久
		理事	草柳 伸彦

平成 23 年度 会 計 (案)

収入	購読料(140×500)	70,000-
	事業参加費	75,000-
	寄付金	28,000-
	繰入金	88,270-
	収入合計	261,270-
支出	送料費	40,000-
	Newsletter 発行費	30,000-
	事業実行費	75,000-
	文房具費	40,000-
	諸費	20,000-
	支出合計	205,000-
	次年度繰越金	56,270-

II 平成 22 年度 監査報告

監事 柳生 博 ㊟
萩原 明 ㊟

神奈川放友会会則第 11 条により、平成 23 年 2 月 16 日に職務を実施したので報告する。

1. 会計監査

会計監査の必要性を認めにくい現状であるが、購読料をうまく使い、技師会の現物支援や会員からの寄付金を合わせて、地道に運営されている。

敬意を称するが、役員負担の限度もあるので財源確保の検討をする必要性を認める。

2. 会務監査

Newsletter 発行を主体に順調に行われている。イベント企画では、参加者を増やす努力がほしい。

会員登録 120 名を記録しているが、放友会の発展のために会員登録に努力してほしい。

3. 補足

- ①会員の自費出版方式で本会の企画・編集・出版発行を成功させた。会としてよい事業と理解したい。
- ②選挙活動に踏み込んでいるが、慎重に実行してほしい。

III 平成 23 年度 事業及び会計(案)

4 年目を迎えた放友会は「放友会の仲間作り」が基本ですので、会の発展のため入会員促進に努力をしたい。地域放射線連絡協議会との連携を密にし、会員の厚生の面的なつながりを築いて行きたい。

また、小規模診療施設等への放射線業務支援体制などが浮上する放友会を願って、神奈川県放射線技師会との全面協力を基にした活動を行います。

次の目標を置いて活動したい。

- ① 「神奈川放友会 Newsletter」の発行 (4 回/年)
- ② 施設見学・小旅行・懇談会などの企画
- ③ 会員入会登録の促進
- ④ 「クリニック等における放射線業務の支援」を考える活動への支援
- ⑤ 会員アンケートの実施
- ⑥ 神奈川県放射線技師会との意見交換
- ⑦ 議員 (市県国) 選挙への支援
- ⑧ 「神奈川放友会 Newsletter」を神奈川県放射線技師会HPに掲載

IV 平成 23・24 年度役員選出

神奈川放友会会則第 3 章第 9 条の役員を平成 23・24 年度任期として、第 10 条の定めにより選出する。

選出役員 理事：5 名以上 10 名以内

監事：2 名

理事・監事候補者

理事：長谷川 武・橋口 邦紘・早瀬 武雄
石渡 良徳・村松 康久・小松崎真一
奥山 清貴・櫻田 晃・小嶋 昌光
監事：草柳 伸彦

神奈川放友会 Newsletter 投稿のお願い

神奈川放友会の機関誌「神奈川放友会 Newsletter」は会員からの投稿をお待ちしております。

特に堅苦しい規定はありませんので、下記の内容をご理解の上投稿して下さい。

発行日 年間 4 回(1 月・4 月・7 月・10 月)

ページ数 A4 版 8~12 ページ

ページ設定 用紙 A4 (210×297mm) 横書き

余白 上下左右 15mm

文字数と桁数 53×52 (10.5 ポ) (ハッター・フッター含)

投稿の区別

- 1) 論説 解説 主張 資料 コラム等
- 2) 文化関連 (趣味・旅行・俳句・短歌・川柳 等)
- 3) 図書 音楽 絵画 写真 等
- 4) 人物・職場紹介 求職・求人紹介
- 5) その他 (区分を問いません)

原稿は、原則は CD 又はフロッピーでの提出をお願いしますが、ペーパー又は Eメールにてでも結構です。

気楽にご投稿下さい。

[原稿の送り先] 神奈川県放射線技師会事務局内
神奈川放友会事務局 tel045 681 7573 fax 045 681 7578
横浜市中区長者町 4-9 ストック伊勢佐木 1 番館 501 号

「神奈川放友会」平成23年度事業への提言

アンケートまとめ

Newsletter 第 12 号の巻頭言に、創立後 3 年を経過した活動が記載されています。会員が約 120 名になり、多くの会員から放友会活動に対して大きな関心をもたれ、励まされてもおります。

新年度を迎えるにあたり、会員から期待される「具体的事業について」検討する必要があると考えています。つきましては、次年度事業に関する会員からのご意見を頂き、執行部からの総会提案に反映させたいと思っております。是非、ご意見をお寄せ下さい。

[意見集計] 2011 年 1 月 31 日までに、「神奈川放友会」平成 23 年度事業への提言募集”に提案された内容を列記すると共に、その提言に対する執行部の見解やスタンスを記しました。

1. 会員の情報交換について(Newsletter とイベント企画について)

- ① 毎回企画を考えることは大変なことと感じています。少人数といっても数十人となりますが、業務を離れ、しかし共通の話題を持った人々の、ひと味違ったイベントを楽しみにしています。
B級グルメや体験などもよいでしょうか。(50 歳代)
- ② 事務手続き連絡費の少ない会費で、ご健闘されておられることに感謝いたします。(50 歳代)
- ③ 今ぐらいの事業活動でよい。(50 歳代)
- ④ 交換会として、年 1～2 回程度は必要だと思います。(58 歳代)
- ⑤ ニュースレターは、毎回とても楽しみにしています。(54 歳代)
- ⑥ 良く出来ている。年 4 回の発行は大変と思う。お疲れ様。(50 歳代)
- ⑦ 学術的な事は必要ないと思う。(61 歳以上 非常勤)
- ⑧ 箱根周遊の旅のような、親睦が良いと思います。(61 歳代 現役)
- ⑨ 会員の事を反映できるような企画も、考えては如何でしょうか。
よく構成されていると思います。(61 歳以上 非常勤)
- ⑩ 放友会は新しい活動を模索しながらも 3 年が過ぎ、Newsletter の内容やイベントも定着しつつあるが、さらに拡大を必要とした時は、会員との情報交換が有効となってくる。地域放射線技師会の集まりに積極的に出向いて、情報を交換する手段も一方法と考える。具体的にはその中から適当な放友会との連絡者を理事に推薦して、地域技師の問題点や勤務先での悩みごとなどについてレポートいただき、ニュースレターへの記事にしては如何か。
(60 歳以上 現役)
- ⑪ 従来通りで良いと思います。(61 歳 退職)
- ⑫ 役員の方が中心に考えて実行する。理事の方が順番で代われば、内容も長い目でみれば新しい企画も期待できる。
(61 歳 退職)
- ⑬ 特別ありません。今まで通りの運営で、よろしく願いいたします。(61 歳 退職)
- ⑭ 会員の近況報告等の企画も必要では。(61 歳 退職)
- ⑮ 今後も続けていただきたい。Newsletter に理事会の審議した事項を簡単にのせてほしい。(61 歳 退職)
- ⑯ 日頃お世話有難うございます。Newsletter はこれまで通り踏襲。イベント企画は、放友会独自の企画。神放技企画への側面協力(学術関係)(61 歳代 退職)

2. 放射線技師会運営に対する意見具申(技師会を補完した役割についての意見)

- ① 特定の職場については、成し得ない発信し難い案件や、現役技師の相談役的な立場と感じます。経験に基づいた役割を期待しています。(50 歳代)
- ② 公益法人格をとることが先ず優先で、その資格に見合った規約の徹底と事業展開を望みます。(50 歳代)
- ③ 技師会とは別の視点で活動すべきです。(54 歳代)
- ④ 会長以下ボランティアでよくやっている。(頭が下がる思いです。)(50 歳代)
- ⑤ 放射線技師会は十分な運営がなされていると思うので、補完など必要ないのでは?(61 歳以上 非常勤)
- ⑥ 放友会の存在が技師会に対しての役割だと思う。(61 歳以上 現役)
- ⑦ 公益法人化が実現近いと聞いています。技師会の存在をアピールするような運営方針を立案する。
(61 歳以上 非常勤)

- ⑧ すべては、公益化した後の放射線技師会の役割がはっきりした時点で、これまでのように技師会が関われない事項を、放友会がどこまでできるか双方協議のうえで支援していく。(60 歳以上 現役)
- ⑨ 放射線技師会は現職の方中心に、放友会は OB の方中心に考えていくと良いと思う。(61 歳以上 退職)
- ⑩ 役割を分担して、診療放射線技師の評価向上に貢献すべき。(61 歳以上 退職)
- ⑪ 現役期との違いを「物と事」に分けて考えると、物(機器、装置、材料)とは縁遠くなったが、事(感性、技術、データ等)に関しては有意義なるものを保有し収集、集約は今後もできる。
従って技師会には持っている紙データを無償提供して、そこへの反応を確かめ希望をうる事柄への意見具申した方がよい。(61 歳以上 退職)

3. 「21 世紀の医療と福祉を支える会」への支援(放射線技師会の評価を向上させるための政治団体としての活動について……)

- ① 医療に関する発言力を得ることは必要だと思います。支援しつつ結果につながるまで全て責任をもつべきです。当選させるだけが目的では困ります。(50 歳代)
- ② 県民の安全な医療提供を主なる目的に賛助できる会を、支援することはやぶさかでないと思います。(50 歳代)
- ③ OB 会的に親睦を深めつつ、技師会をバックアップしていくのが良いと思います。(50 歳代)
- ④ 我々の職域を広げるためにも、政治力は必要と考えます。(54 歳代)
- ⑤ 「21 世紀の医療と福祉を支える会」は解散しております。日本放射線技師連盟に関することは、職業を守るため必要ではないかと思えます。(40 歳代)
- ⑥ 名称が仰々しくとつきにくい。放友会はリタイヤした方々が主体なのでこのような活動しなくて、もっと違う活動があるのでは・・・(50 歳代)
- ⑦ 政治団体としての活動は必要と考えるが、資金を集める方策が必要であり難しい問題と考える。(60 歳以下)
- ⑧ 主たる会員は技師 OB、OG の人達だけなのか？(61 歳以上 非常勤)
- ⑨ 安心して安全な医療の取組みとして、広い視野にたつてコメディカルの存在感の為に積極的にトライすべきではと思います。(61 歳 非常勤)
- ⑩ 政治への関与はあくまでも我々放射線技師の利益に結びつくことが原則で、例えば、看護師や検査技師あるいは細胞検査師のように、業務の範疇拡大や技師法の改正に力を尽くしてくれる政治家を、放友会が応援していくことなら賛成である。(60 歳以上 現役)
- ⑪ 必要性は感じられない。(61 歳以上 退職)
- ⑫ 政治団体を別に設け、もう少し政治的に活動した方がよいかと思えます。医師会や歯科医師会みたいに。(参考にして)(61 歳以上 退職)
- ⑬ 政治の力をおかりして、医療の向上を図ることは必要である。技師会ではできないので、「放友会」が積極的に行うべきである。(61 歳 退職)
- ⑭ 「政治、宗教、商売」の 3 課題は、深刻な路線対立をも運んできます。かと言って全く避けて通れる訳でもありません。「一般社会は何を望んでいるのか、私共 OB 放射線技師には如何なる領域の課題をどれだけ果たせるのか」等を、共に活動課題や手順方法を煮つめてほしい。(61 歳以上 退職)

4. 「神奈川放友会」Newsletter 発行回数と内容について

- 1) 現行の 4 回 / 年・・・47 名 2) 2 回 / 年・・・6 名 3) 2～3 回 / 年・・・1 名
- 4) 3 回 / 年・・・1 名 5) 3～4 回 / 年・・・1 名

- ① 趣味や特技を持った方、種々の顔を見てみたいです。(50 歳代)
- ② 先輩の方々に思い出や自分の趣味などを、リレー形式で投稿してもらう。(50 歳代)
- ③ 投稿様式を掲示し、オープン(自由)投稿では？(58 歳代)
- ④ 4 回 / 年の発行が大変なら定期発行を減らして、臨時等で対応してもいいのでは・・・(50 歳代)
- ⑤ 「みんなの広場」において、幅広い会員からの投稿を希望します。特に文化面で個々の特技をもっているはずですから、この辺から「みんなの広場」を充実し、交流の輪(絆)を広げる、いや広がることを確信しています。
(61 歳以上 退職)
- ⑥ 編集の方から依頼するとよいと思う。(61 歳以上 退職)
- ⑦ リレー方式で原稿をお願いしたらどうか。(61 歳以上 退職)

5. 「神奈川放友会」Newsletter 購読料金 500 円 / 年 について

Newsletter 購読料金 (内容は郵送料) を徴収していますが、放友会活動費いわゆる会費は徴収していません。

従って事業運営資金を確保することも必要である、Newsletter 購読料だけでなく「放友会会費」としての徴収を検討したいと思っております。意見と具体的金額をご提案ください。

I 会費を徴収し活動事業を活性化させる 60 歳以下(60代・50代・40代以下) 61 歳以上 (現役・退職)

1) そうすべきである・・・23名(10名・・・60歳以下、13名・・・61歳以上) 2) 必要ない・・・2名(60歳以下)

3) 現状でよい・・・21名(60歳以下・・・18名、61歳以上・・・3名)

II 神奈川放友会 年会費 1000 円・・・12名 2000 円・・・5名 3000 円・・・1名

1000～2000 円・・・1名 1000～3000・・・1名

① 活動については受益者負担を主にすべきで、事業活動を明解にして必要経費を算出することが良いでしょう。

(50 歳代)

② 活動事業としては、現状段階で良いと思います。(50 歳代)

③ 政治色があまり強くない、今くらいの活動でよいと思います。(50 歳代)

④ 理事さん達の会議、交通費等を支払って頂ければと思います。(58 歳代)

⑤ 購読料とあわせて 1,000 円 (40 歳代)

⑥ 具体的に運営費としてどのくらい必要なかわからない。必要な分を年会費としたら良いと思う。(50 歳代)

⑦ 送金方法を確立してください。(例えば、振込み制度等) (61 歳以上 現役)

⑧ 会費として徴収し、事業 (Newsletter 発行) として支出できるようにすべきである。(60 歳以上 現役)

⑨ Newsletter13 号に掲載された写真はモノクロ画像になっていますが、予算の都合でこうなったのかお聞かせください。従来のカラー画像にすべきです。(61 歳以上 退職)

⑩ 放友会の活動意義を理解してもらい、活動がしやすい環境をつくるべきです。(61 歳以上 退職)

⑪ 購読料 500 円+会費 1,500 円=2,000 円、徴収のため区切りよい方が? (61 歳以上 退職)

6. 理事の増員について(理事の自薦・他薦を歓迎しております)理事は総会での承認が必要です。

I 指名理事として起用しても良い。

1) 賛成・・・34名 2) 反対・・・5名 3) 保留・・・7名 合計 46名

① 意味が良くわかりません。(50 歳代)

② 増員については現行の理事の年齢、体力など諸処を考えて賛成です。具体的な人数はともかく偏らないように各地域から選出し、将来運営の規模の必要に応じて常任理事、運営理事などに分けて業務担当をきめるのも一方法と考える。指名理事については賛成。(60 歳以上 現役)

③ 毎年理事を 1 名交代するものとする。(61 歳以上 退職)

7. 貴方の年代を教えてください(46 名の方よりご意見を頂きました)

1) 60 歳以下 30 名 (60 代・・・1名 50 代・・・13名 40 代・・・16名)

2) 61 歳以上 16 名 (現役・・・7名 退職・・・9名)

アンケート対するご意見ありがとうございました。

☆

★

☆

★

☆

アンケートの「各項目への提言」に対して、執行部の見解・スタンスを記しました。

1. 会員の情報交換について(Newsletter とイベント企画について)

① イベント企画 B 級グルメや体験等充分参考にさせていただきます。

② 会の会計現状を理解して頂き感謝します。この会計改善案を考えなければなりません。

③ 現状の活動内容でも財源不足です。 ④ 同一です。 ⑤⑥ 有難うございます。頑張ります。

⑦ 掲載内容を大いに検討します。 ⑧ 親睦を中心に企画します。是非、ご参加下さい。

⑨ ゆっくりですが進行中と理解しています。

⑩ 十分に理解しているつもりです。但し、人材不足・経済不足で現状では拡大出来ずにいます。会員の拡大と役員の増員を模索しております。

- ⑪ 現状を維持しようと考えています。 ⑫ 人材探しに苦慮しています。是非、お手伝い下さい。
 ⑬ 運営の継続に苦慮しております。 ⑭ 努力します。会員からの情報をぜひ入れて下さい。
 ⑮⑯ 考慮致します。

2. 放射線技師会運営に対する意見具申(技師会を補完した役割についての意見)

- ① その通り理解しております。模索中です。 ② 神放技への内容なので、放友会は見守っています。
 ③ その通りです。但し、両者の連絡会議を行っております。
 ④ ご理解を頂き感謝します。役員の方々には、運営・経済面等において中心より感謝・感謝しております。
 ⑤⑥⑦⑧ その通りです。「補完」の言葉は、具申を述べるができる程度の内容と理解して下さい。但し、職業団体として法人には出来ないことに対する、二人三脚は必要と考えております。
 ⑨ 放友会はOBのみではなく、現役の方も会員ですので、放友会の役割・活動を理解する必要があると考えています。OBとは神放技を退会した方をいうのか。定年退職をした方をいうのか？
 ⑩ 会の目標に掲げています。 ⑪ 努力するの必要は感じます。現状では何も出来ません。勉強します。

3. 「21世紀の医療と福祉を支える会」への支援(放射線技師会の評価を向上させるための政治団体としての活動について……) “21世紀の医療と福祉の向上発展に寄与する社会活動”への支援と記すべきでした。

- ①②③④ 4月の地方統一選挙では会も動き出しております。初めての経験ですが、一歩踏み出したと思っています。
 ⑤「21世紀の医療と福祉を考える会」の解散は了解しました。 ⑥ 良く話し合ってください。
 ⑦ 現在では政治連盟的な組織まで考えておりません。 ⑧ その通りです。
 ⑧ 共に勉強して行きましょう。
 ⑨ 放射線技師の社会的役割の充実と医療と福祉の向上等に取り組む人達を応援したい
 ⑩ 一つの意見と理解します。 ⑫ 政治団体の設立は考えておりません
 ⑬ 勉強してまいります。 ⑭ いろいろ勉強して行きましょう

4. 「神奈川放友会」Newsletter 発行回数と内容について

- ・ 現行の 4回 / 年 を続行したいと考えております。
 ①② 徐々にやっております。ご支援下さい ③ その通りです。投稿にご協力下さい。
 ④ 頑張ります。ご支援下さい ⑤ その通りです。 ⑥⑦ 実行します。ご協力下さい。

5. 「神奈川放友会」Newsletter 購読料金 500円 / 年 について

- I 検討中です。本会の最大の課題です。大いに話し合ひましょう。 II 検討中です。
 ①② 検討中です。徐々にやっております。
 ③ その通りですが、皆さんと話しあひましょう。慎重に若干の活動を開始しております。
 ④ その通りですが、財源がありません。現状は全て役員さんのご厚意に甘んじております。
 ⑤ 検討中です。 ⑥ 熟慮を重ねております。
 ⑦ ゆうちょ口座を開設しています。振込用紙を送付する予定ですのでご利用下さい。
 ⑧ 検討中です。参考にさせていただきます。 ⑨ 経費節約のためです。早急な課題として検討中です。
 ⑩ 努力します。 ⑪ 検討中です。充分に意見を考慮しながら総会で決めます。

6. 理事の増員について(理事の自薦・他薦を歓迎しております)理事は総会での承認が必要です。

- I 検討中です。大いに話し合ひましょう。
 ① 理事になって協力してくれる方を探しています。指名理事の起用は、総会での承認を得て実行します。
 ② 現在は、会員数と活動内容から役員の方の頭デッカチにならぬよう、また、経費も出ないボランティアでの理解ある方みの構成です。提言通りと理解しますが、その通りの組織作りに努力して行きます。
 ③ 会則では、理事の任期は2年です。人材が多数いるならばいつでも考慮します。

7. 貴方の年代を教えてください(46名の方よりご意見を頂きました)

- ・ アンケートへの回答者は46名で、会員数の39.3%でした。総会等のご意見と合わせて、神奈川放友会の運営に反映させるよう考慮いたします。

以上

従弟と従妹

氏 家 盛 通

〔従弟〕

横浜市立大学病院に勤務中のあるとき技師長室に一本の電話が掛かってきた。診療放射線技師の仕事はどのようなものか。その資格をとるにはどうすればよいか等というものでした。話しを聞いているうちに、本人は小生の後輩となる横浜国立大学の学生で、考えているのは福島に居る従弟だという。福島のどこかと聞いたら安達郡だという。安達郡のどこかと聞くとわが故郷東和町だという。高校は今どこかと問うと、小生の後輩となる安達高校であるということが分かった。

結果としては、技師になるため、東北大学医療技術短期大学部（現医学部保健学科・私もこの前身の出身）へ進み、現在は福島県立医科大学病院で診療放射線技師として働いている。彼の名は樵（きこり）と言い、高校では野球をやっておりピッチャーとして頑張っていたようです。彼は、二つの学校の数少ない後輩であり、修学旅行で上京のおり一度だけ会ったことがあります。この旅行は、最終学年の前期の試験が終了した際に、上京し先輩が勤務する病院や放射線装置やフィルムメーカー工場を見学し在京の先輩との懇親会がもたれていた。

それから数年がたち、母校安達高校が甲子園出場となるのではないかなんか言うような時があった。母校の当時の同窓会長は、無類の野球好きであり東京支部の総会に来ると挨拶の半分以上は野球のことを話していた。あるときは、甲子園に出場したときあわてないよといっ、応援の練習までやったことがありました。当然、この年の地区大会の状況の話には熱が入ります。この年のエースは、樵君といって、前出の彼とは従弟でした。その後、東北学院大学に進み大魔神の出身校でもある東北福祉大学より勝ち星を奪ったということであった。

毎年、高校野球の地区予選の結果というのはなんとなく気になります。新聞で地区予選結果欄の下の列（負けた放）を見て載っていないので負けていないことを知り、上の欄を見て載っていないので昨日は試合がなかったのかと一喜一憂するのは私だけでしょうか。

私の高校の卒業生の著名人は、ウィキペディアによると、回転横断層撮影装置を開発しX線CT装置の発明に貢献したとして、放射線医学分野で唯一文化勲章を受章した高橋信次先生とお笑いのSでした。しかし、最近では北京オリンピックに出場したKさんとS銀行の初代社長で現会長の級友A君など7名となってきている。

〔従妹〕

駒澤大学へ移り数年が経ったと時に、研究室で学生と話しをしていたら「先生は福島の出身ですか」ということになった。「夏刈」と言うところを知っていますかと言うのです。“知っているよ”と言うといきなりお墓の地図などを書き始めたのです。この地名は数軒の家があるだけの小さな集落であるが、彼女にとっては「福島イコール夏刈」であったと思う。「佐藤貫一という人知っていますか」という、「知っているよ」というと、彼女はこの方の“ひ孫”だという。貫一氏は父親よりは少し年下で、私が子供のころ我が家によく来て話しをしていたのを覚えていたのです。後で分かったことですが貫一氏の妹さんは、私の姉と同級生で、次男の方は次兄と同級生でした。そして孫である彼女の母親は、中学教員だった三兄の教え子だと言う。彼女は神奈川県内の高校を卒業しており、出身校からは福島との関係は分かりませんでした。

それから数年後に“みなみ”と言う名の学生がおりました。どうしてその名前が付いたか親から聞いたことがあるかとたずねたら、親が野球漫画のタッチが好きだったとのことでした。平成19年の4月ニキビがまだ残っているような新入生が入学してきました。この中に“みなみ”という名前の学生を見つけました。同じ質問をしたら聞いていないと言うのです。彼女は仙台の高校の出身であったのですが、父親は貫一氏の孫であり、前出の卒業生とは従妹どうしということでした。彼女は、ヤクルトの由則投手の一年先輩であり、23年春卒業して福島のPETや粒子線治療も行う病院へ就職したとのことである。

故郷福島の二組の“従弟と従妹”が、私がかかわり診療放射線技師になったという懐かしい思い出ともなっている。



診療放射線技師になった従弟と従妹

神奈川放友会における政治活動について

2011年地方統一選挙を迎えると共に国政選挙も予想される昨今、我が会に対しても選挙支援要請があった。

その第一号は、県政横浜市旭区より立候補を予定している「民主党公認 あいはら康行」氏からの推薦依頼状の要請である。

神奈川放友会は、昨年の12月定例理事会及び今年の2月定例理事会において、議題として討議して承認されたことを踏まえて、つぎのような覚え書きを整理して確認している。

- 1) 「合原康行」県議会議員候補支援に当たったの覚え書き
- 2) 「神奈川放友会」の政治活動についての取り決め
- 3) 神奈川県議会議員選挙協定書

2010年12月08日

「合原康行」県議会議員候補

支援に当たったの覚え書き

支援理由

1. 候補者は、神奈川医療専門職連合会所属の栄養士の会の会員である。医専連の同志として支援する。
2. 神奈川医療専門職連合会会長及び(社)神奈川県放射線技師会より、合原康行候補への支援を要請されたので、組織からの要請と理解して支援する。
3. 民主党の政党公認が得られた候補者として、適任であると認め支援する。
4. 政策理念として、「医療・福祉」に重点を置いた活動を目指しており、県議会に医療専門職出身者の議員席を確保すべきスタンスを持っているので、賛同し支援する。
5. 県議会選挙候補として、過去に経験をもっており2度目の挑戦であるが、年齢的・健康的・過去の活動から問題はなく、適任と認めて支援する。
6. 本会の活動方針である「21世紀の医療と福祉の向上発展に寄与する社会活動への支援」の目的に対して、医療専門職連合会所属の会員が活動することは適合すると判断して、支援する。

7. (社)神奈川県放射線技師会及び合原候補本人からの支援要請を受け、神奈川放友会12月定例理事会において、上記の内容を踏まえて「合原候補」を支援することを確認し、推薦状を出すことを決定した。
8. 尚、県技師会と本会は二人三脚で行動することを踏まえ、(社)神奈川県放射線技師会の3役と神奈川放友会の3役で、選挙支援について連絡会議を持つよう要請することとした。

- 注
1. この覚え書きは、2010年12月08日の神奈川放友会「定例理事会」で確認されたことをまとめたものである。
 2. 今後、他の候補者の支援要請が持ち込まれることを踏まえて、支援理由を明記した。
 3. 「神奈川放友会選挙関連担当者」として、長谷川会長・橋口副会長・早瀬理事を指名し対応することとする。

平成23年2月16日

「神奈川放友会」の政治活動についての取り決め

神奈川放友会の目的は、「会員相互の親睦と情報交換を図ると共に、21世紀の医療と福祉の向上発展に寄与することを目標に社会活動を行う」ことであり、この目的を達成し「県民医療の向上・医療と福祉の充実・診療放射線技師の社会的役割の充実」を図ることである。

放友会の目的を達成させるためには、政治の力が必要であることは会員すべてが認識していることではあるが、会則には具体的な政治活動についての取り決めはない。従って、会の目的を達成させるために必要とされる政治活動の具体的事項について取り決めが必要である。

今回の平成23年統一地方選挙を迎えるにあたり、神奈川放友会の政治活動について、

平成23年2月16日に行われた理事会において議題「国・県・市議会議員選挙の対応について」として審議し、次のことを確認した。

1. 会員には、政治に対する確たる信念・支援すべき人、政党をもっている人もいるが、会の目的達成のために神奈川放友会は政治活動を行う。但し、会員を拘束するものではなく賛同する会員と共に活動を行う。
2. 会の目的に賛同しその達成に協力していただき

る候補者と協定書を交わし、推薦する。

3. 推薦する候補者は、国・県・市議会議員等の選挙候補者であり、政党を支援するものではない。
4. 会が理事会の合意により選挙候補者と協定書を交わし推薦する。また、選挙候補者が会の推薦を依頼してきた場合は、理事会において審議し合意を得る。
5. 推薦候補者については「神奈川県放友会 News letter」において会員に広報する。
6. 具体的選挙協力については、必要に応じ候補者と協議し、神奈川県放友会は支援体制をとる。

以上

**(社)神奈川県放射線技師会と神奈川県放友会との
意見交換会確認事項**

1. (社)神奈川県放射線技師会は政治的活動をしない。定款の目的にある「県民医療の向上及び保健の維持に寄与」そして「診療放射線技師の社会的役割の向上」には政治の力も必要であることは技師会会員も充分承知しているが、社団法人として政治的活動は行わない。
2. 神奈川県放友会は、本会の目的である「会員相互の親睦と情報交換を図ると共に、21世紀の医療と福祉の向上発展に寄与する社会活動」を行い、「県民医療の向上・医療と福祉の充実・診療放射線技師の社会的役割の向上」を図る。
その目的を達成するために政治家の理解を得ることも必要であり、支援も必要である。神奈川県放友会会員との協議を踏まえ活動する。
3. 神奈川県放友会は、「県民医療の向上・医療と福祉の充実・診療放射線技師の社会的役割の向上を図る社会活動に支援して下さる政治家に対しては、政党にこだわらず協定書を締結し支援する。

平成22年12月22日

(社)神奈川県放射線技師会

会長 窪田 宗雄 印

神奈川県放友会

会長 長谷川 武 印

神奈川県議会議員選挙協定書

2011年4月1日告示、4月10日投票で行われる神奈川県議会議員選挙において、「神奈川県放友会」は横浜市旭区選出候補の「あいはら康行(合原康行)氏」を推薦するに当たり、次の事項について合意したので協定書を締結する。

□ 基本認識

日本経済は暖やかな回復基調にあると言われているが、まだまだデフレ傾向にある。

医療界においても毎年増額して行く医療費の伸びを、どのように補填して行くのかの明確な回答が出されておらず、国民負担による国民保険料の増額等を検討しているようでもある。

神奈川県医療専門職連合会を構成している各団体と会員においては、「県民の医療の向上及び保健の維持に寄与する使命をもっており、私たちは、その実現のために取り組まなければならない」ことが、基本理念であることを確認する。

□ 基本姿勢と政策

1. 県民との対話を重視し、医療と福祉の充実に努めること。
2. 神奈川県医療専門職連合会及び構成している各団体との定期協議の継続、政策提言の県政への反映など相互に支援協力を行うこと。
3. 診療放射線技師の社会的役割の充実に努めること。
4. チーム医療の推進を図ること。
5. 具体的選挙協力については、今後必要に応じ両者間で協議し、神奈川県放友会は支援体制をとること。

2011年2月19日

神奈川県議会議員候補者

(横浜市旭区選出) あいはら 康行 印

神奈川県放友会

会長 長谷川 武 印

2011 年地方統一選挙

民主党公認

神奈川県議会議員候補 [横浜市旭区]

神奈川放友会 推薦

合原 康行(あいはら やすゆき) 56 歳
(管理栄養士・調理師)

私あいはら康行(合原康行)は2011年4月に実施予定の統一地方選挙におきまして、県議会議員選挙必勝に向けて活動しているところでございますが、各団体のご推薦を戴くため、推薦状をお願いしているところです。

医療・福祉関係の仕事を約23年間実施してまいりました経験を生かし、県民の医療・福祉政策を中心に取組たいと考えておりますので、貴団体のご推薦を戴きますよう、よろしくお願い申し上げます。

民主党 あいはら康行の県政への想い

ーみんなが笑って暮らせる社会の実現を目指してー

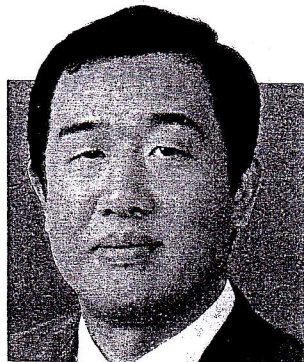
1. 約23年間、医療の現場(病院)で仕事をしてきた経験を生かして、県民の健康づくりに積極的に取り組みます。
2. 高齢者医療、子育て支援、働き盛りのメタボ対策(特定保健指導)に全力で取り組みます。
3. 地域住民のための県立がんセンターの有効利用を推進致します。
4. 各医療専門職の連携を強化し、専門性を最大限に発揮することにより、患者さんとともに歩む医療の実現に全力で取り組みます。
5. 健康維持・増進活動を推進するため、医療専門職の組織的活用を図るとともに、在宅医療・介護支援の充実を目指します。
6. 日本伝統の地域社会の復活による、安心・安全な社会を目指します。
7. 無駄な公共事業中心の税金の無駄遣いを見直すとともに、安定税収のための施策に前向きに取り組めます。

[活動歴等]

生活習慣病予防の食生活普及のため、横浜市コミュニティカレッジ、朝日カルチャーセンター、ことぶき大学の講師などとして横浜市内各区でも活躍するとともに、医療関連専門誌への論文執筆を多数行う。

1992年からは松下幸之助翁が主宰した横浜 PHP 経営勉強会に参加。

健やかな社会を創ります



- 神奈川県病院栄養士協議会副会長
- 神奈川県栄養士会副会長
- 神奈川県医療専門職連合会事務局長などを歴任

[プロフィール]

- 1967年 横浜市立滝頭小学校卒業
- 1970年 横浜市立岡村中学校卒業
- 1973年 神奈川県立横浜緑が丘高等学校卒業
- 1973年 カレーショップ「ヤング」に就職
- 1980年 東京栄養食糧専門学校卒業
- 1980年 三浦市立病院に就職
- 1983年 済生会横浜市南部病院に就職
- 1989年 カナダ全土の病院、医療センター、大学、保健省などを取材
- 1990年 日本鋼管病院に就職
- 2004年 栄養管理ソリューション運営
現在に至る

<現在>

- 栄養管理ソリューション代表
- 神奈川県立衛生看護専門学校 非常勤講師
- 横浜市医師会保土ヶ谷区看護専門学校 非常勤講師
- 国際フード製菓専門学校 非常勤講師
- 東京栄養食糧専門学校 非常勤講師

[主な著書]

- ・ CMをネタに日本人のひとりとして
言わせてもらいます 幼冬舎ルネッサンス
- ・ 健康予防管理専門士試験公式テキスト(共著)
日本能率協会
- ・ 医療食・介護食の調理と衛生(共著)
サンエンスフォーラム
- ・ 世界栄養文化大全(カナダ編)
東京書房社
- ・ 保健 医療 福祉の総合年鑑 WIBA(共著)
日本医療企画
- ・ 栄養士実力アップテキスト(共著)
日本医療企画

みんなの広場

[神奈川放友会 定例2月理事会]

日時 平成23年2月16日(水) 14:00~17:00
 場所 社団法人 神奈川県放射線技師会5F会議室
 出席者 長谷川 武 橋口 邦広 小松崎真一
 石渡 良徳 早瀬 武雄 村松 康久
 柳生 博 萩原 明

[議題]

1. 会長挨拶
2. 前回理事会議事録の確認
3. 会員登録の確認と登録活動状況について
4. 神奈川県放射線技師会 と 神奈川放友会の選挙に関する連絡会議 について
5. 神奈川県会議員候補「合原康行」との協定書について
6. 神奈川放友会 平成23年度事業への提言 アンケートのまとめ について
7. 国・県・市議会議員選挙の対応について
8. 第4回総会対策について
9. 第2回「放談会の集い」について
10. 医療体制への鼓動 一検診に携わった技師の記録— その後の報告と販売対策等について
11. 「神奈川放友会」Newsletter Vol.4 No.2 第14号 (2011/03/10) 発行の内容確認と承認について
12. 「神奈川放友会」Newsletter Vol.4 No.3 第15号 (2011/07/15) 及びそれ以降の企画について
13. その他(顧問役の提案について)
14. 次回の会議開催予定について

[放友会川柳]

- ・ うし・トリの 命奪われ 吠える山
- ・ 地下マグマ せめてレアメタル 噴き出して
- ・ チョコなしに 義理チョコ添える 妻がいる
- ・ 核物質 漏れて気がつく 整備ミス
- ・ メールにて 八百長裁く 大相撲
- ・ 大相撲 消したメールが 命取り
- ・ 科捜研 検事の調書 暴露せよ
- ・ オートプシー 検事の捏造 撮し出せ
- ・ 毎日が 休みパジャマに パンパおジャマ
- ・ 今日からは 妻が上司の 見習い生

[会告] [神奈川放友会理事の選出]

第4回総会時に「神奈川放友会“理事・監事”選出」が行われます。自薦・他薦の候補者は申し出て下さい。
 会則12条により、
 理事：10名以内 監事：2名以内
 候補者の受付は、総会開催直前まで受け付けます。

2010年県内ラスパイレス指数 平均は102.8

県は、2010年の県内33市町村のラスパイレス指数(4月1日)を1月はじめにまとめた。

国家公務員の平均月給を100とした場合、県内33市町村の職員の平均給与水準は102.8で、前年より0.4高くなった。5年連続で上昇している。

横浜市の指数は105.1で全国の自治体で最も高かった。

[主な十市のラスパイレス指数]

1 横浜市	105.1	6 平塚市	102.3
2 藤沢市	104.1	7 綾瀬市	101.6
3 川崎市	103.0	8 小田原市	101.5
4 鎌倉市	102.6	9 厚木市	101.3
5 茅ヶ崎市	102.5	10 座間市	100.9

[ラスパイレス指数] ドイツの統計学者ラスパイレスが提唱した。国家公務員と地方公務員の給与水準の比較などに使われる。国家公務員の月給(基本給)を100とした場合の、地方公務員の給与水準を指数で示す。

2009年の平均寿命

女性:86.44歳 男性:79.59歳

厚生労働省が2010.7に発表した簡易生命表でわかった2009年の日本人の平均寿命は、男性:79.59歳、女性:86.44歳で、いずれも過去最高を4年連続で更新していることが明らかになりました。

がん、心疾患、脳血管疾患の3大疾患と肺炎の死亡率が全体的に下がったことが影響しているそうです。

[平均寿命の上位5カ国・地域]

男性 (歳)	女性 (歳)
1 カタール 81.0	1 日本 86.44
2 香港 79.8	2 香港 85.5
3 アイスランド 79.7	3 フランス 84.5
4 スイス 79.7	4 スイス 84.4
5 日本 79.59	5 スペイン 84.27

女性は25年連続の世界最長寿で、男性は5位だった。3大疾患が克服されると男性は87.63歳、女性は93.43歳まで平均寿命が延びるといふ。

★ 編集後記 ☆ 「第4回総会と第2回放談会」の集い及び統一地方選挙支援の広報のため、発行日を繰り上げました。是非、会の行事にも選挙にも参加して下さい。

Newsletterへの会員投稿を待っておりますので、どんな分野のものでも結構です、お寄せ下さい。